

中田

町内5校の小6交流合宿



▲沢登りなどのグループ活動を通じ、たくさん仲間ができました

中学校で、また会おうね

中田の交流合宿「八ん子かっぱ村」が、8月16から18日までの3日間、国立花山青少年自然の家（栗原市）で実施されました。この事業は、中田地区5校の小学6年生を対象に、中学校入学前の仲間づくりと小学校最後の夏休みの思い出づくりを目的に毎年開催されています。今年も142人が参加し、沢登りやキャンプファイヤーなどのグループ活動を通して、たくさん仲間との交流を楽しみました。参加した児童は「初めは不安だったけど、ほかの小学校の友達もたくさんでき、大切な思い出になった」と話していました。

迫

自動車学校で交通安全教室



▲横断歩道の正しい渡り方もしっかり学びました

みんなで学ぶ交通ルール

幼稚園児の交通安全教室が9月18日、迫町にある北宮城自動車学校で開催され、さくら幼稚園と佐沼東幼稚園の園児81人が参加しました。今年で15回目を迎える今回の教室では、交通事故が起きる様子を再現したり、県警察ヘリコプターを見学したりしました。また、正しい横断歩道の渡り方を学び、パトカーなどの搭乗体験をしました。横断歩道の渡り方では、信号機が青になると左右を確認し、元気に手を上げて横断しました。搭乗体験ではパトカーや白バイ、消防車に乗り、楽しみながら交通ルールを学んでいました。

優勝目指し、熱い戦い

豊里地区の市民大運動会が9月1日、豊里運動公園で開催され、多くの地区住民が参加しました。運動会は保育園・幼稚園児たちのリレーやよさこい演舞で始まり、幅広い年齢層の皆さんが優勝を目指して汗を流しました。どの種目も激戦が繰り広げられ、応援席の地区テントからは大きな声援と拍手が送られるなど、地域との結びつきがますます深まった運動会となりました。白熱した競技の結果、加々巻町内会が総合優勝の栄冠に輝きました。第2位は下町町内会、第3位は仲町町内会と横町町内会でした。

地区市民大運動会を開催

豊里



▲爽やかな秋晴れの下、力を合わせワッショイ

地産地消の普及目指して

県主催の食材王国みやぎ「登米おいしいもの市」が9月2から6日にかけて県庁1階玄関ホールで開催されました。9月6日は、登米・津山地区認定農業者連絡協議会や登米町加工クラブ連絡協議会の6人が参加。新鮮な登米市産のナスやトマト、キャベツなどの野菜や加工品を販売しました。当日は午前10時から販売を開始。「地産地消の日」のPRや地域食材の情報を発信しました。会場には多くの人たちが立ち寄り、用意した商品はほぼ完売という大盛況で、登米市の食材の良さをアピールしていました。

登米おいしいもの市で販売

登米



▲県庁に訪れた皆さんがたくさん立ち寄り、大盛況でした

米山

平筒沼への案内看板を設置



▲悪天候の中、見守り隊が手作りした案内看板を設置しました

来る人を迷わせません

吉田コミュニティの平筒沼見守り隊（高橋正司隊長）が9月4日、平筒沼周辺に案内看板を設置しました。県外からも多くの観光客が訪れる平筒沼は、近隣住民が道案内を依頼されることも多く、案内看板の要望が出されていました。見守り隊は、関係機関との協議を重ね、今回の設置を実現させました。当日は、悪天候での作業でしたが、隊員は自分たちで手作りした看板10枚を主要道路から平筒沼へつながる交差点に設置。設置に参加した隊員は、「この看板を見て安全に平筒沼に来ていただきたい」と話していました。

東和

死亡事故ゼロ5000日達成



▲布施孝尚市長(右)から表彰を受ける米谷地域づくり推進協議会の荒川会長

交通安全への努力が実る

今年8月21日をもって東和町米谷地区が交通死亡事故ゼロ5000日を達成。8月22日、登米警察署長と登米市長から米谷地域づくり推進協議会へ交通安全死亡事故抑止功労褒状が贈られました。米谷地区では、平成11年12月から交通安全死亡事故が発生していません。協議会の荒川進会長は、「死亡事故ゼロ5000日の達成は、安全協会や交通安全母の会など関係団体をはじめとする地区住民皆さんの協力で達成できた大記録。今後も記録を更新できるよう、交通安全活動推進に努めたい」と決意を新たにしています。